

かぞくをまもれるかな？

作／絵

日本女子大学 家政学部 住居学科
平田研究室四年 勝又 美帆



①

そうたくんは海の近くに住む五歳の男の子。

そうたくんはおとうさん、お母さん、

おじいちゃん、おばあちゃんと四人で仲良く

暮らしています。

ぬく

実演ノート

「海の近く」を

強調して

著作者：日本女子大学家政学部住居学科平田研究室
勝又 美帆
制作年：2017年10月
【研究室住所】
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
【連絡先】
メール：mh-07@outlook.jp

前—① かぞくをまもれるかな？



②

きょう ようちえん おやすみ ひ

今日は幼稚園がお休みの日なので、そうたくん

おかあさん おさんぽ

はお母さんとお散歩をしています。

とおく

遠くにきれいな海が見えるね。

うみ みえる

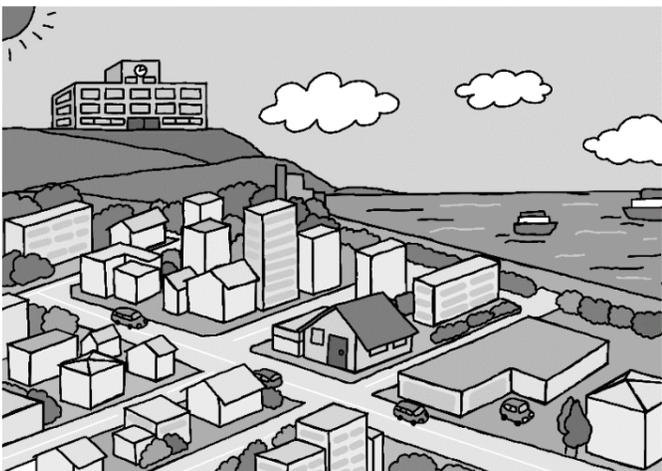
ぬく

幼稚園を保育園

に変えても良い

「海」を強調して

前—② かぞくをまもれるかな？



③

そうたくんのおうちは赤—い屋根のおうち。

ここでみんなと暮らしているんだね。

家からちよつと歩いたところには、さつき見た広

—い海があります。丘を登った高—いところには、

そうたくんが来年から通う小学校があります。

ゆつくりぬきながら

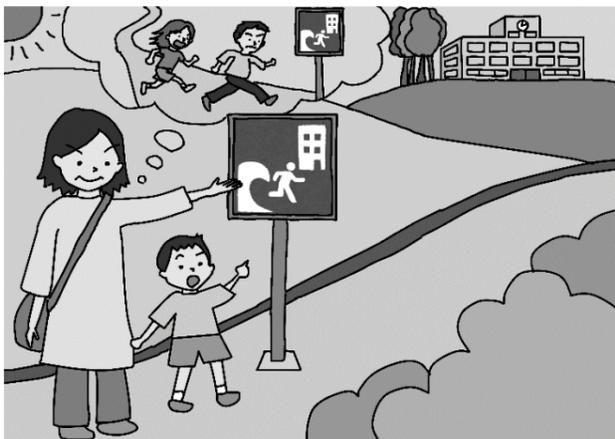
おさんぽをしていると、小学校に向かう坂道に
たどりつきました。

「赤—い」を強調
して。家を指して
も良い

「広—い海」と
「高—いところ」
を強調して。

小学校を指して
も良い

前—③ かぞくをまもれるかな？



④

そうたくん、何かなに気きになる物ものを見みつつけけたたみたい。

そうたくん 「たあるくいたさん歩あるいたなあー。ん？

お母おさん、あまのまマあークくは何なんのなん マまーまクく？」

お母おさんおは教おえてしてえててくれました。

お母おさん 「あつれなは、津つ波な避ひ難な場ば所しょのまマまーまクくよ。

こうこみは海ちの近かくくでしじよ。地じ震しんが

おおきおたららつつななみみ くるくるる 逃にげげるる

たためめに、ここここへへみみんんななでで来こよううね。

小し学が校うは高たいかいいととこころろににああるる

かあら、安あ全んなんののよ。」

そうたくん 「ううん、わわかかつつたた！」

ととそうさううたたくくんんははいいいいままししたた。

ぬ く

「津波避難場所」

を強調して。マ

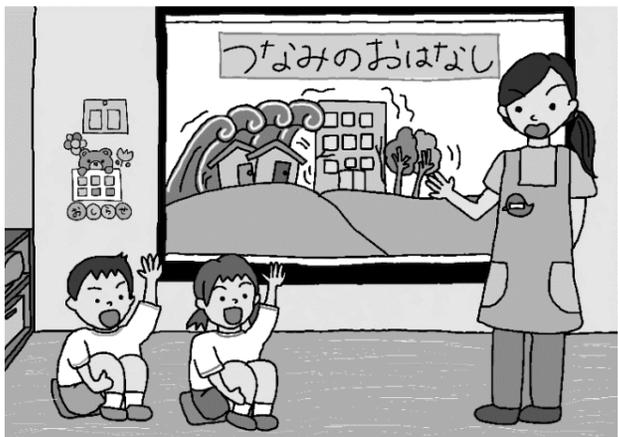
クを指しても良

い

「高いところ」

を強調して

前—④ かぞくをまもれるかな？



⑤

次の日のこと。月曜日になったので、そうたく

んは幼稚園にいます。この日は先生から「つなみ

のおはなし」を聞きました。

先生「ここで地震が起きると、津波がやってきま

す。津波はものすごい速さでみんなを

襲ってきて、家も、車も、人も流されてし

まいます。だから、一刻も早く高い所に

逃げなくてはなりません。そして、一度高い

所に避難したら放送で『おうちに帰っても

いいよ』と言われるまで絶対に戻っては

いけません。」

そうたくんは大きな声ではーいと返事をして、

つなみってとっても怖いなあ。と思いました。

ぬく

少しおおげさに

ゆっくり読む

「絶対に戻って
はいけません」を
強調して

前—⑤ かぞくをまもれるかな？



⑥

幼稚園ようちえんからおうちかえってに帰ってきたよ。おじいちゃ

んおばあちゃんがリュックりゅっくに荷物にもつを詰めているね。

そうたくん「なにしてるの？」

そうたくんが聞くときく、おじいちゃんは

おじいちゃん「津波つなみから逃げる時にはこのリュックりゅっくだけ

を持ってもって、防災頭巾ぼうさいずきんをかぶって家いえから

出るんだよでるん。リュックには本当ほんとうに必要なひつよう

なものだけ入はいっているんだ。玄関げんかんに

置いておこうおいて。」と言いいました。

そうたくん「へえーわかったよ」

そうたくんはまた一つお勉強おべんきょうをしました。

それから一か月後いっかげつごのある日ひ。そうたくんが家族かぞく

とおうちにいるときのこと・・・。

さつとぬく

ゆっくり読む

「リュック」と

「防災頭巾」を

強調して

ゆっくり読んで

次のページにつ

づくように

前—⑥ かぞくをまもれるかな？



⑦

グラグラグラ...

お母さん 「わあ、地震だ！大きい！」

お母さんが叫びました。

家の中のものはガタガタと大きな音を立てて

揺れています。そうたくさんはびっくり。

おじいちゃん 「机の下に隠れて、ダンゴムシのポーズ
をするんだ！」

おじいちゃんの声が聞こえます。

さつとぬく

紙芝居を揺する

大きな声で叫ぶ

ように

紙芝居を揺らし

続けながら

「ガタガタと大
きな音を立てて」

を強調して

紙芝居を揺らし

ながら大きな声

で

前—⑦ かぞくをまもれるかな？



⑧

そうたくんはおじいちゃんの言う通り、机の

下でちゃんとダンゴムシのポーズをしているね。

それでもまだグラグラと揺れています。上から

ものがたくさん落ちてきてこわいよ。

ぬく

「ちゃんとダン
ゴムシのポーズ
をしているね」を
大きな声で

紙芝居を揺らし
ながらグラグラ
をおおげさに

怖がるように

前—⑧ かぞくをまもれるかな？



⑨

3歳児に読み聞かせ
している場合や
子供がとても集中
している場合は
この1行だけ
読んでぬく

これがだんごむしのポーズだね。覚えておこう。

みんなも、そうたくんと一緒にだんごむしの
ポーズをやってみよう！地震が起きたら、机の下
に隠れて、そうたくんみたいにだんごむしの
ポーズをするんだよ。

少しの間

わあ！地震だ！みんな、地震が来たよ、
だんごむしのポーズをしよう。

しばらく時間をおく

揺れが収まったよ。元の位置に戻って座りまし
よう。お母さんがみんなに

お母さん「家の外に出よう！」と言いました。

ぬく

呼びかけるよう
に

そうたくんを指
さして

大きな声で。紙芝
居をゆすりなが
ら

大きな声で子供
を落ち着かせる
ように

前—⑨ かぞくをまもれるかな？



⑩

みんなに一つずつ用意してあつたリュックを

背負って、防災頭巾をかぶって、外に出ました。

おじいちゃん「津波が来る！高い所に逃げるぞ！」

小学校は津波避難場所だから、小学

校に向かって走れ！」

そうおじいちゃんが叫ぶと、ご近所さんもみんな

な丘の上の小学校に向かって走り出します。そう

たくさんも走って追いかけます。

ちつとぬく

「リュック」と
「防災頭巾」を
強調して

大きな声で叫ぶ
ように。ゆっくり
と

前—⑩ かぞくをまもれるかな？



⑪

そうたくんが一生懸命走っていると、幼稚園の

お友達おともだちのまゆちゃんに会いましたあいました。まゆちゃんは

泣ないています。どうやら、家族とはぐれて迷子まいごに

なっちゃったみたい。泣ないているばかりのまゆち

やんに、そうたくんは

そうたくん「津波つなみが来るから、早く逃げようはやくにげよう」

と声こえを掛けて手をつなぎました。

そして、小学校しょうがっこうに向かって一緒に走り出します。

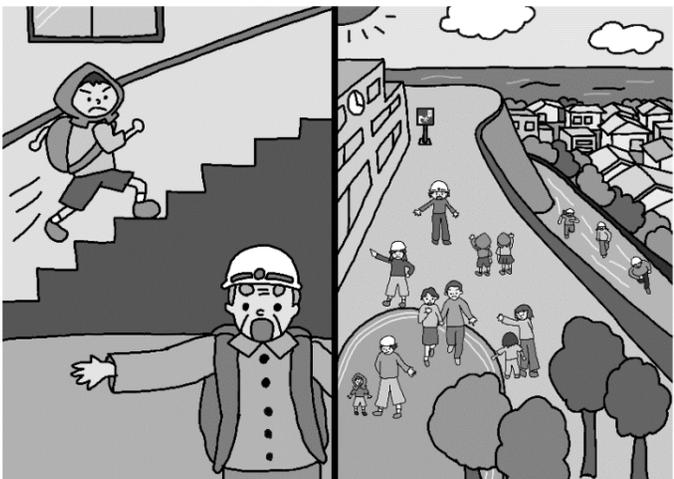
みぎてほうこう はんぶん
右手方向に半分だけぬく

ゆっくりと
悲しそうに

力強く大きな声
で

力強く

前—⑪ かぞくをまもれるかな？



⑫

みぎてほうこう はんぶん
右手方向に半分だけぬいたまま

はしって おか うえ しょうがっこう とうちやく
いっぱい走って、やっと丘の上の小学校に到着
ぐらうんど
しました。グラウンドには、たくさんの人が
あつまって
集まっているね。

ぜんぶ
全部ぬく

たかいところ にげる
周りの大人達 「もっと高い所に逃げるぞ！」
おとな いう しょうがっこう なか
と大人たちが言うので小学校の中に
はいり かいだん
入り、階段をのぼります。

おじいちゃん 「いそげ！」
いいながら
と言いながらおじいちゃんが案内して
あんない
くれました。

ぬく

ゆっくり。疲れた
ように

驚いたように

大きな声で叫ぶ
ように

大きな声で叫ぶ
ように

前—⑫ かぞくをまもれるかな？



⑬

階段ものぼり終わって、一番上の階に着きました。
あー疲れた。

少しの間

おや？お母さんが困った顔をしているよ。

お母さん「そうたとお母さんの分のお水をリュック

に入れ忘れてしまったの。お水がないと、

何もできないわ。急いで家に取りに戻ら

なきや！戻ってくるから、ここにいてね」

そうたくさん、おじいちゃん、おばあちゃんに

向かってお母さんは言いました。

ぬく

疲れたように

不思議に思った
ように

ゆっくり読む

大きな声で、困っ
たように

呼びかけるよう
に

前—⑬ かぞくをまもれるかな？



14

二人「水だみずって?！」

おじいちゃんとおばあちゃんも困こまりました。
おばあちゃんはおじいちゃんに「水みずがないと、飲み物のみものもないし、トイレもできない。」と言いいました。

おじいちゃん「わしとばあさんは自分じぶんの分ぶんの水みずしか持もっていないよ。いつ帰かえれるかわからないのに、これじゃあ足たりない。」

おじいちゃん「お母おかあさんに、取りとりに戻もってもらおう。」
おじいちゃんとおばあちゃんは相談そうだんして決きめました。
おじいちゃん「お母おかあさんに、取りとりに戻もってもらおう。」
おじいちゃんとおばあちゃんは相談そうだんして決きめました。

おじいちゃんとおばあちゃんは相談そうだんして決きめました。

ぬく

大きな声で驚いたように

困ったようにゆっくり読む

困ったようにゆっくり読む

はっきりと

前—⑭ かぞくをまもれるかな？



⑮

その様子ようすを見てみていたそうたくん。

そうたくん 「どうしよう。おみずお水がなくなったら

困こまつちやうな。」

でも、一か月前いっかげつまえに幼稚園ようちえんで習ならったこと

をおもいだしました。

先生「いちどたかいところひなんに避難ぼうそうしたら放送かえで『おうちに帰

つてもいいよ』と言いわれるまで絶対ぜったいに戻もどって

はいけません。」

そうたくんは思おもいました。

そうたくん「いまもどつたらお母おかあさんは津波つなみに

流ながされて死しんじやうかもしれない。」

そんな想像そうぞうをしていたらとつても悲かなしくなつて、

そうたくんの目めからは涙なみだが出てでてきました。

ぬく

困こつたように

はつきりと力強

く

「絶対ぜつたいに戻もどって

はいけません」を

強調きやうてうして

悲かなしい気持ちで

ゆつくりと

前—⑮ かぞくをまもれるかな？



⑯

そうたくんは勇氣を出して思いっきり大きな声
で叫びました。

そうたくん 「津波が来るから、戻っちゃだめだよ！」

戻ったら、死んじゃうかもしれないよ！

ずっと高い所にいるよ！」

家族みんなに向かってそう叫んだあと、

お母さんにぎゅっとしがみつきました。

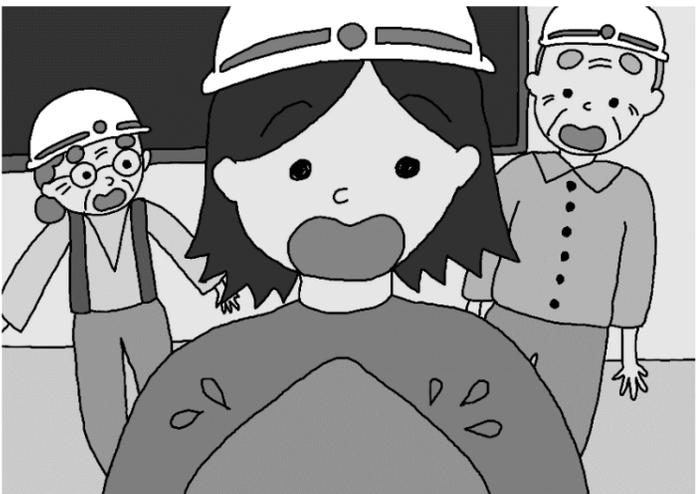
さっとぬく

大きな声で叫ぶ
ように。ゆっくり
と

「ずっと高いと
ころにいるんだ
よ」を特にゆっく
り、強調して

「ぎゅっと」を強
調して

前—①⑥ かぞくをまもれるかな？



①⑦

おかあさん
お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんばびつ
くりしているね。でも三人ともはつとして

お母さん 「そうだよね、命が一番大切だったわ。」

戻ったら、危ないよね。

みんなとここに一緒にいましょう。」

とお母さんが言いました。

少しの間

あれ？窓のほうにみんな集まって外を覗いてい
るよ。なんだろう？そうたくんは気になって、一緒
にのぞきこみました。

ゆつくりぬく

呼びかけるよう
に

ゆつくりと、確認
するよう

不思議に思った
ようす

前—①⑦ かぞくをまもれるかな？



①⑧

のぞいてみると、津波がさつきまでそうたくん

たちのいた街をすっかり飲み込んでいました。

赤い屋根が目印のそうたくんのおうちも、水に

埋まってしまっているね。

少しの間

もしお母さんがお水を取りに戻っていたら、ど

うなっていたでしょう。みんな、そんな風に考えて

いたら怖くてぼーっとしてしまいました。

ゆっくりぬく

ゆっくりと、真剣
なようすで

そうたくんのお
うちを指しても

良い

子供に呼びかけ
るように

ゆっくりと

暗いようすで

前—⑱ かぞくをまもれるかな？



⑲

お母さんは涙を流しながら、

お母さん「そうた、ありがとう」と言い、そうたく
んをぎゅっと抱きしめました。

お母さん「こんなことになるなんて。戻らなくてほんとう
に良かった。引き留めてくれてありがとう。」

お母さんは何度もありがとうと言いました。
おじいちゃん、おばあちゃんも

二人「えらいね、皆を助けてくれてありがとう。」
と褒めてくれました。

次の日、放送で「おうちに帰ってもいいよ」と
言われて、そうたくんの住んでいたおうちはなく
なってしまうけれど、そうたくんと家族はやつ
と小学校から出ることが出来ました。

ぬく

気持ちを込めて

「ぎゅっと」を強
調して

ゆっくりと

気持ちを込めて

優しい声で

ゆっくりと

「やっと」を強調

して

前—①9 かぞくをまもれるかな？



20

3歳児に読み聞かせ
している場合や
子供がとても集中
している場合は
この枠の中だけ
読んでぬく

そうたくんがみんなに聞いていますよ。
そうたくん「みんなはちゃんと
言えるかな？お母さん
が戻ろうとしても『ずっと
高い所にいるよ！』
つて。」

確認をとりながら少しの間

言えるかな？

じゃあみんなで、「せーの」のあとに一緒に

言ってみよう！

少しの間

「せーの、ずっと高い所にいるよ！」
みんな上手に言えたね。

ぬききらず最後まで少し残す

呼びかけるよう
に

「言える？」など
と子供とコミュ
ニケーションを
とる

「せーの」をゆっ
くり、大きな声で

前—②① かぞくをまもれるかな？



②①

ぬき切らず「おわり」を隠したまま

そうたくんは、ゆうき 勇気を出して家族をまもる 守ることが

できた 出来たよ。

そうたくんも家族も、かぞく みーんなにつこり笑顔に
なつたね。

みんなもそうたくんみたいに家族をまもる 守ることが
できるかな！

(おしまい)

微笑みながら

子供に確認する
ように